

令和8年度 学校経営方針

1 令和8年度の改善（学校評価による現状と課題を踏まえて）

○改善の方向	<p>学習については他者の考えを肯定的に受け止めながら学び合うことや ICT の活用について、改善を進めることができた。児童の学校の決まりに対する理解が高まってきたので今後は決まりの意義理解まで進め、決まりを守ろうとする意識を高めたい。</p> <p>学校行事については児童、保護者の満足度が高いが、準備に充てる時間も含め、児童の負担を軽減しつつ児童の意見を生かした行事に向けて改善を進める。</p> <p>キャリア教育については児童一人一人が自身の将来につながる学びを継続していく必要がある。そのためにも教育活動に児童の意見を取り入れたり地域の人と関わる学習をさらに充実させていきたい。</p> <p>地域運営学校として、新たな学校運営協議会の機能を生かしつつ、地域連携を進めたい。また、教育活動について地域に広く周知していく。</p> <p>教員は校内での研修について成果を上げてきた。来年度は生活科・総合的な学習の時間を中心に探究的学習を推進できるよう、さらに研修を充実させていきたい。</p> <p>児童、保護者の信頼に応えつつ教育委員会の支援をいただきながら教員の働き方改革を進めたい。</p>
--------	--

2 重点目標

- A 他者に興味をもって関わり、互いを認め合い尊重し合う態度を養い、よりよい生活の創造と探究的な学びの充実を図る。
- B 「キャリア・未来デザイン教育」の実現に向けて、地域の教育資源を活用し、振り返りや対話による自己理解の深化を図る。
- C 学ぶ内容や児童の実態に応じた ICT 活用を推進するとともに、デジタルリテラシーとデジタルシチズンシップを養う。
- D 教員が人間性や創造性を高めつつ、児童一人一人の成長を喜び、働きがいを感じながら児童と向き合えるよう、働き方改革を進める。

3 主な方策

- A 学級活動、縦割り活動、クラブ活動、学校行事などの特別活動において、主体的に学校内外の多様な人材と関わりながら学ぶ機会を創る。
インクルーシブ教育、いじめ対策、教育相談などの職員組織を設置する。
- B 多様な人を尊重して関わる力を高めるために地域の幼稚園、保育園、中学校などに関わる機会を創るせたがや探究的な学びの探究プロセスにおける振り返りを重視した学びを実施する。
- C 学んだことを地域の中で生かし、地域社会とのつながりを実感できる活動を展開する。
- D 考えを交流したり学びを記録したりすることや、ドリル学習にタブレットを効果的に活用する。
ICT を効果的に活用しつつ、ネットリテラシー講座などを実施し安全な促進する。
- D 教科担任制、支援人材の活用を進め、児童を組織的に指導・支援する。
個人面談、キャリアパスポート、通知表などを連携させ効果的的確な評価を児童、保護者に伝える。

4 教科「日本語」と総合的な学習の時間の活用

- ・教科「日本語」及び総合的な学習の時間の年間計画を作成し実施する。
- ・校内研究の領域を生活科、総合的な学習の時間とし、学習者としての児童を育成する。
- ・生活科、総合的な学習の時間と他の教科領域の関連を意識し、各学年の成果を学習発表会で発表する。

5 その他

- ・教育相談、インクルーシブ教育を推進し、一人一人の児童についての理解に基づいた支援を行い、いじめ防止、不登校児童支援を進める。
- ・服務事故防止のため、毎月の服務研修を実施する。